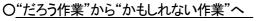
援農作業における傷害や事故防止のために

NPO 法人 すずしろ22

安全への配慮は最優先事項、自己責任のもと安全確保に努めましょう。 改定第22版:01-JUL-2024



「あぜ道ではすべらないだろう」から、「すべって転ぶかもしれない」へ。

〇事例に学ぶ

『人間は体験した事例を身体でおぼえ、再発防止に役だてることができる』とか。発生した事例を事前学習して、事故の事前防止につなげましょう。

農の現場での「ヒヤリハット事例」を紹介します

- ②農道で滑って転び、持っていた農具で怪我をした。 *すべるかもしれないという判断…農具は、転んでも怪我をしない持ち方をしましょう。
- ③畑の異物を踏んで、足に怪我をした。
 *見えている異物は予想以上に危険かもしれない…・底厚の劉を着用しましょう
- ④支柱立て作業で、ポールがおれて腹部を痛めた。
 - *ポールは、経年変化で弱っているかもしれません・・・・折れたポールが身体に当たらぬ体位を取りましょう。
- ⑤グラスファイバによるトンネルづくり作業で、指にファイバの刺をさした。 *グラスファイバの繊維は、紙(割けることがあります・・・・手袋は必ず着用しましょう。
- ⑥真夏の作業で、熱中症を体験した。
- *帽子は(頭部保護のためにも)必需品。飲み物は身近に置き、適宜水分を取りましょう。

- ⑦鎌による草取りで鎌がすべり、足先を怪我した。
 - * 鎌が石等の異物に当り、カのコントロールが狂うかもしれません・・・・手袋、安全な靴の着用をしてください。
- ⑧あぜ道がもろく、数メートル下を流れる川まで転落した。
 - *あぜ道の斜面は雨がふりますと、意外にもろくなっているかもしれません・・・・状況の慎重判断をしてください。
- ⑨左手で草をつかんで刈るとき、右手の鎌で左指を切ってしまった。
- ⑩材木を二人で運び降ろすとき、掛け声をかけなかったため、タイミングが合わず 一人の足の上に材木が落ち、足の指を骨折した。
- ⑪ハウス内作業で、はりに頭をぶつけコブを作ってしまった。
- *ハウス内には支柱の強度を保つためのワイヤやはりが横に渡っています。足元だけでなく頭上にも注意しましょう。
- (12)農道で車の方向転換をしようとして脱輪した。
- * 農道は狭く、また側溝が草で覆われ見えにくくなっています。方向転換時はもちろん、すれ違い時にも注意しましょう。
- 13 自転車で走行中、道路の白線で滑って転倒し、怪我をした。
 - *道路の白線や標識等のペイントは意外に盛り上がっていて、滑ります。特に雨天(路面がぬれている)時は 要注章で



刈払機、管理機、運搬車による作業は、事前に講習の受講が必要です。トラクタ運転・チエンソー作業は、禁止です。

体験した「ヒヤリハット事例」を連絡してください。事故防止に活用させてください。

